

物権の図解・債権の図解

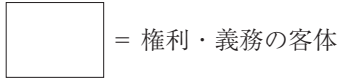
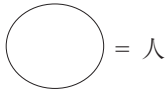
中山 秀 登

- 1 はじめに
- 2 物権の図解—物権は、人の間に物がある—
- 3 債権の図解—債権は、人の間に給付あり—

1 はじめに

筆者は、「民法の流れ図」という題で、流経法学に、連載している。「民法の流れ図」が、料理でいうフルコースとすれば、本稿は、前菜、オードブルである。民法の根幹の権利である、物権と債権を、大づかみに理解することが、本稿の目的の一つである。本稿の、もう一つの目的は、目次の副題を理解すること、である。詳細は、本稿の以下の叙述によって、理解してほしい。はじめに、「民法の流れ図」と、ほぼ同じ凡例を、掲げる。

凡例



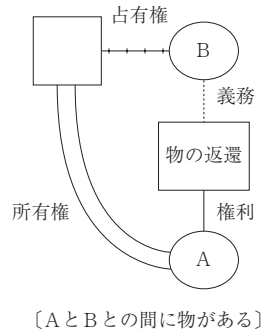
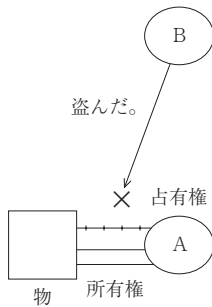
- は、権利があることを表す。たとえば、債権。
- は、義務があることを表す。たとえば、債務。
- ===== は、所有権があることを表す。所有権は、たとえて言うと、
綱である。
- ===== は、制限物権の設定を表す。所有権の綱から、制限物権とい
う一本の糸が取り出されている状態を表す。
- +++++ は、占有権があることを表す。
- は、「売る」、「買う」などの意思表示などを表す。

2 物権の図解—物権は、人の間に物がある—

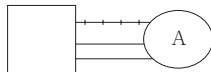
民法の第2編「物権」のなかに、具体的な名称を付けられた物権が、ある。以下、各種の物権を図解する。ちなみに、本稿の副題は、正確に言くと、「物権は、人と人との間に有体・無体の物がある」である。ただ、七五調にするために、副題のような表現にした。本稿では、〔 〕のなかに、コメントを付した。

所有権 民法206条以下。

占有権 民法180条以下。

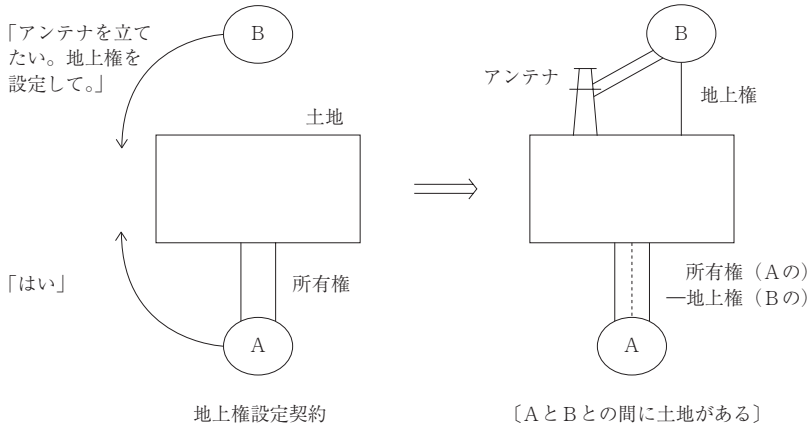


BがAへ
物を返還
した。

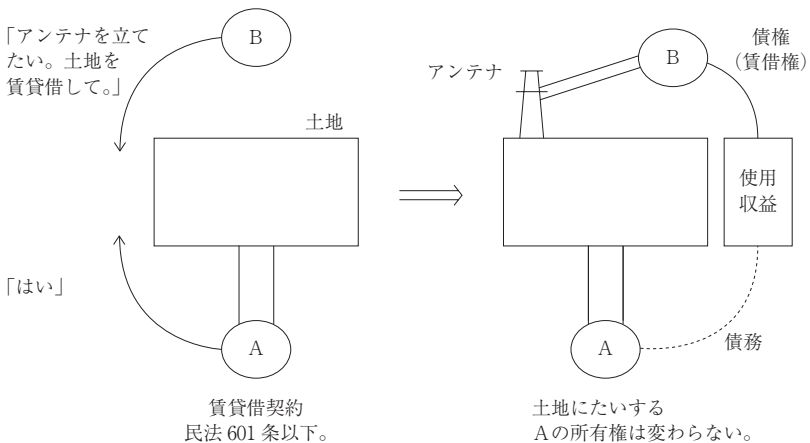


地上権

民法265条以下。

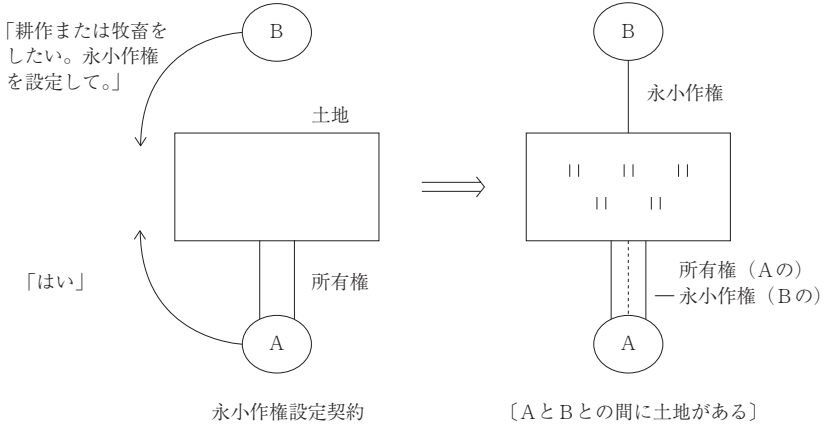


参考として、賃借権（債権）を図解する。

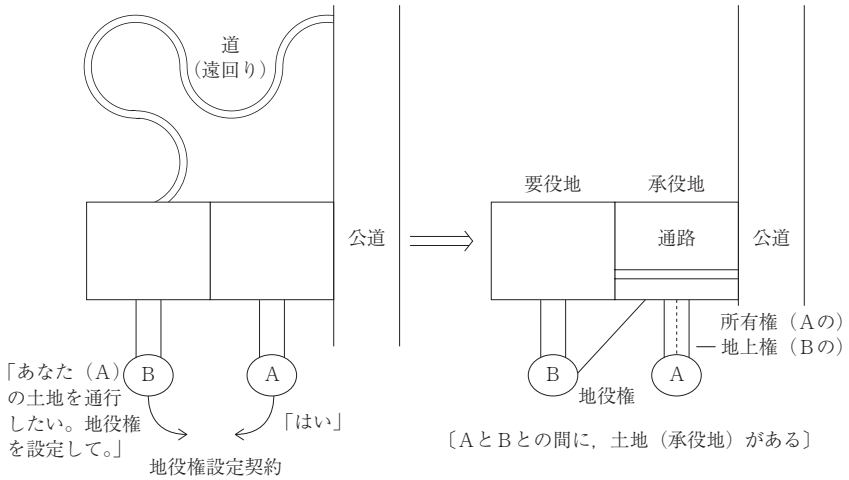


[参考。AとBとの間に給付（使用・収益）がある]

永小作権 民法270条以下。

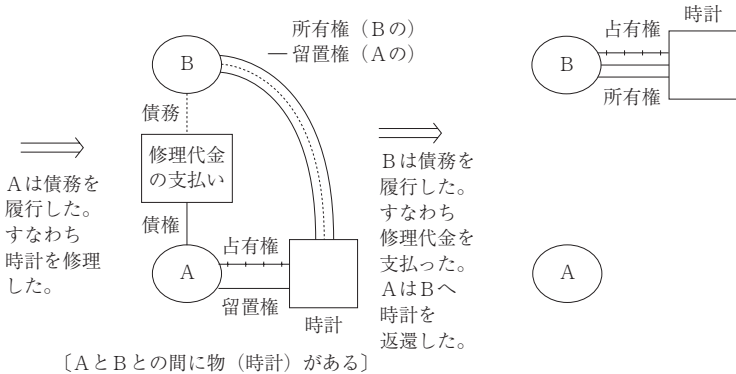
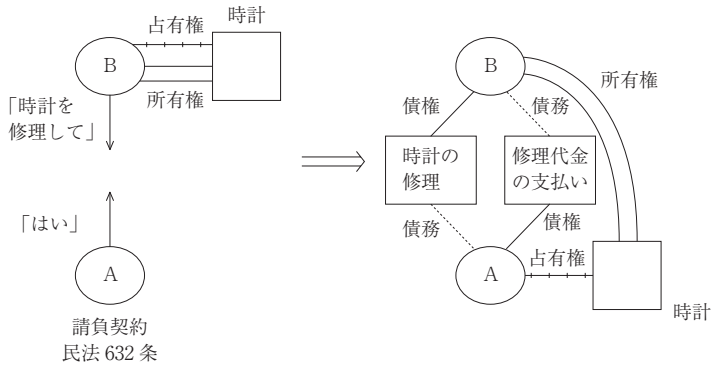


地役権 民法280条以下



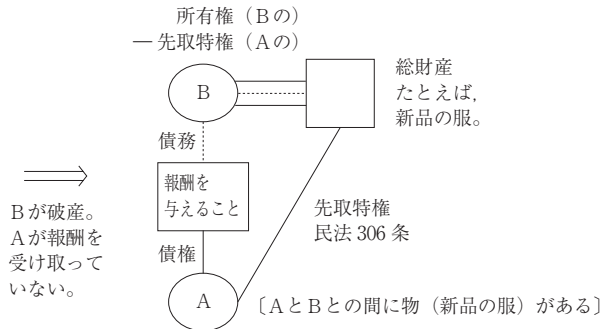
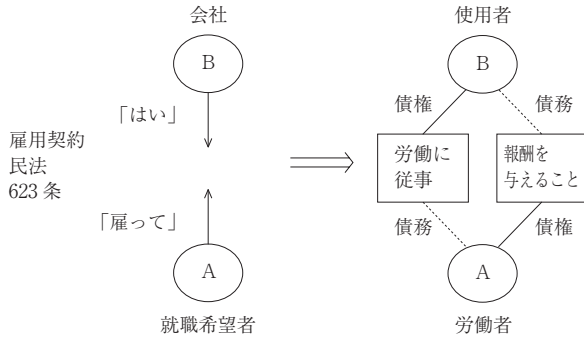
留置権

民法295条以下。



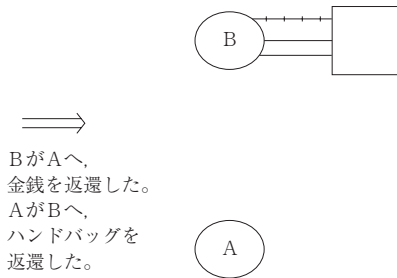
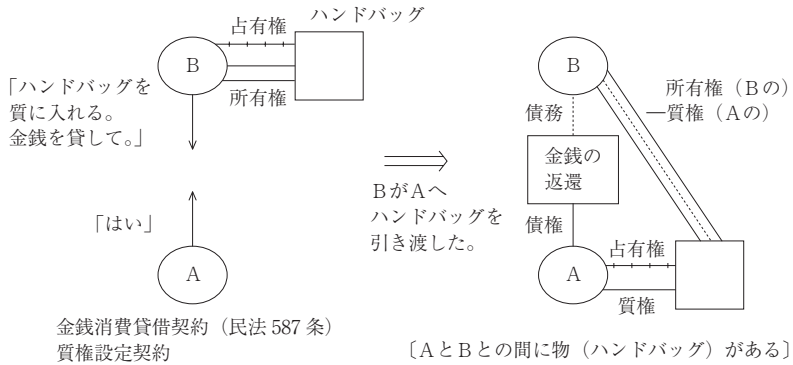
先取特権

民法303条以下。



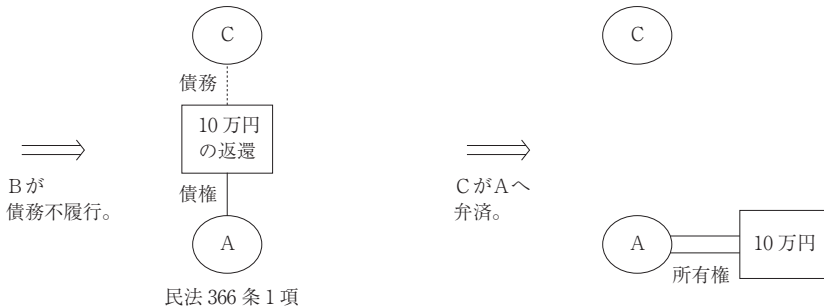
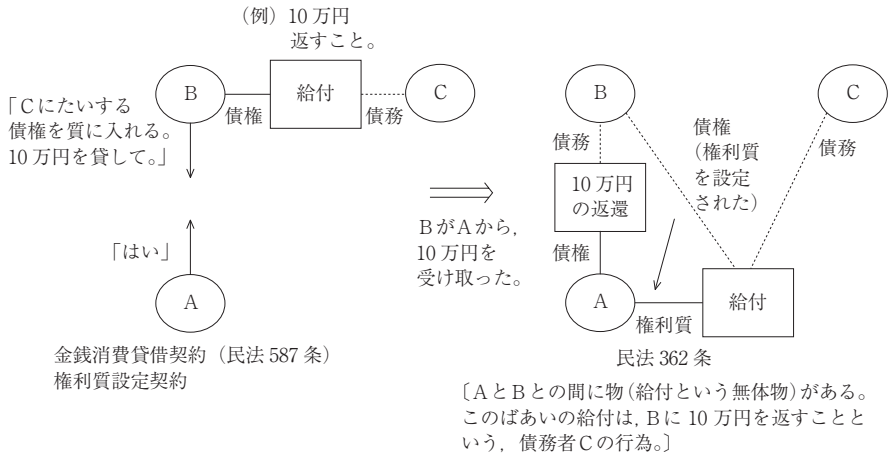
質権

民法342条以下。



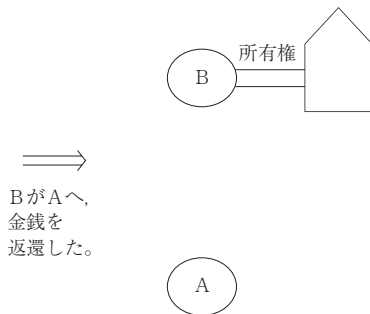
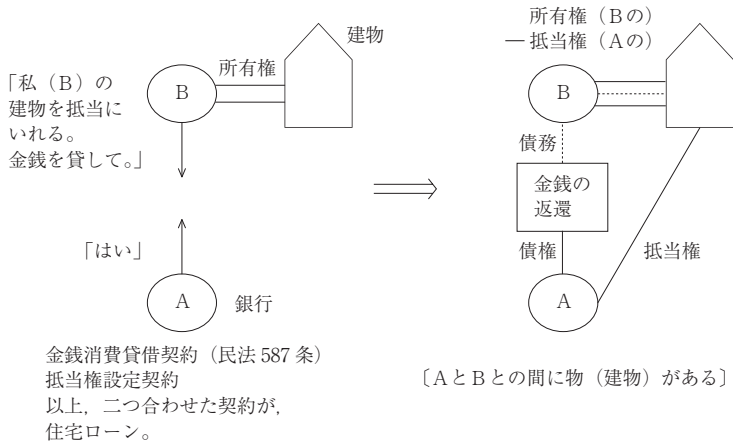
権利質

民法362条以下。



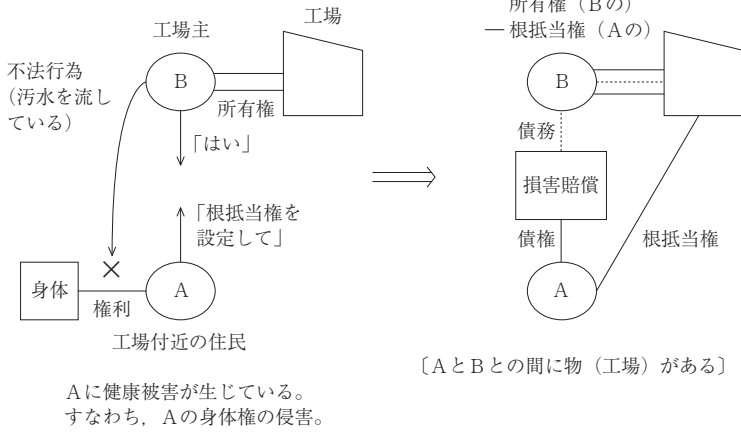
抵当権

民法369条以下。



根抵当

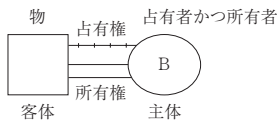
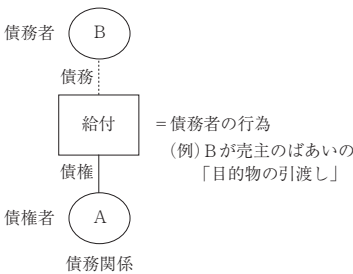
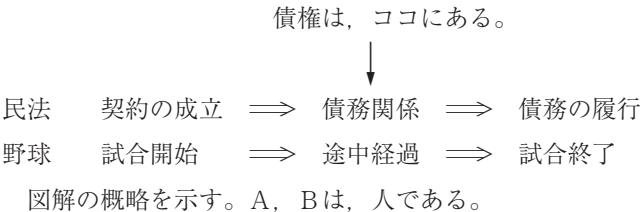
民法398条の2以下。山川一陽ほか・口語民法を参照した。



3 債権の図解—債権は、人の間に給付あり—

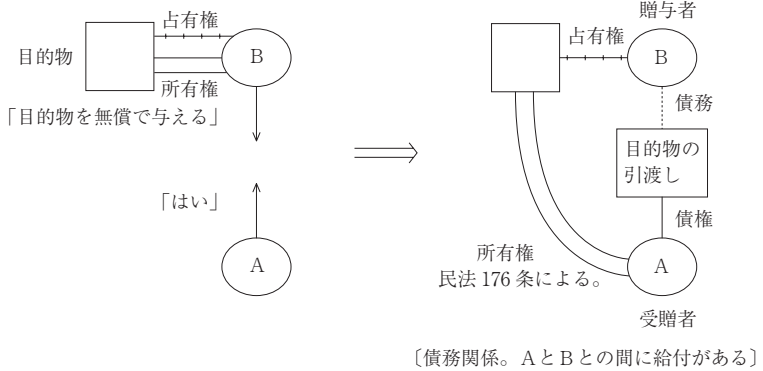
民法の第3編、債権のなかで、第2章・契約、第3章・事務管理、第4章・不当利得、第5章・不法行為は、債権の発生諸原因である。本稿では、以上の、各種の、債権の発生諸原因、および、債務関係、債務関係の終了を図解する。副題の意味は、正確に言うと、「債権は、人と人との間に、当事者双方から生じた給付がある。」である。〔 〕のなかに、コメントを付した。

以下、野球の試合で、たとえてみる。契約の成立は「試合開始」、債務関係は「途中経過」、債務の履行は「試合終了」である。

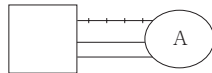


以下, 内は, 債権の発生原因である。

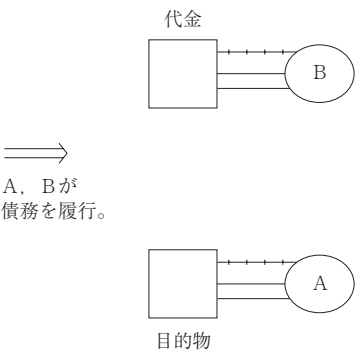
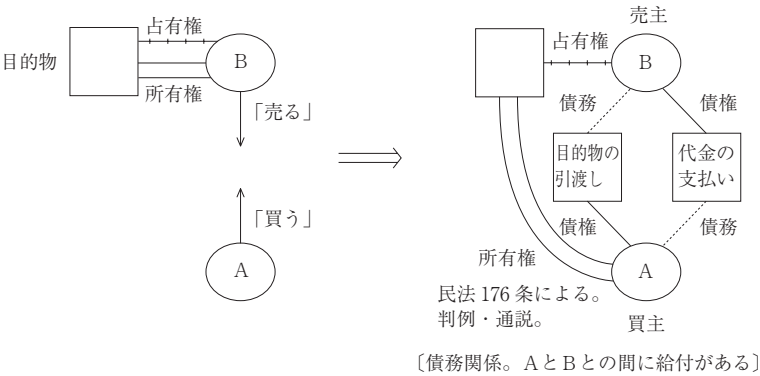
贈与契約 民法549条以下。



Bが債務を履行。
すなわち、
目的物を
引き渡した。

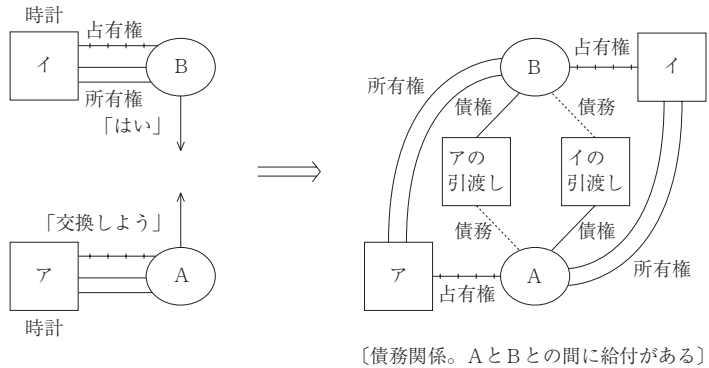


売買契約 民法555条以下。

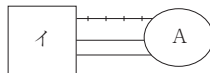


交換契約 民法586条。

たとえば、Aがアという時計の占有権、所有権をもっていて、Bがイという時計の占有権、所有権をもっているとする。AとBが、自己の時計と相手方の時計を交換する契約をしたばあい。

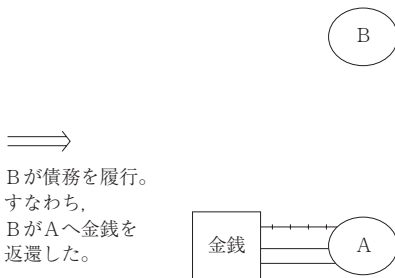
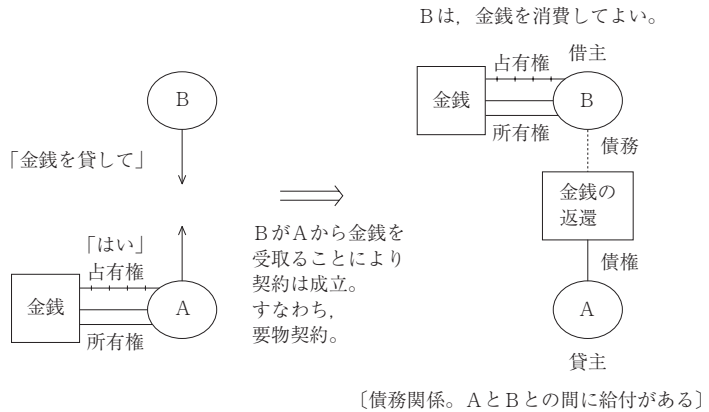


A, Bが
債務を履行。



消費貸借契約

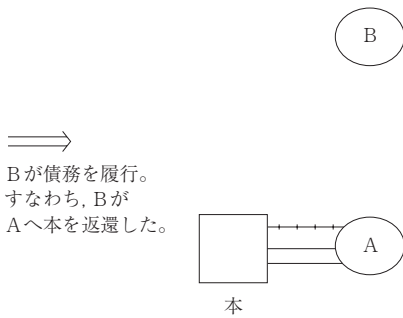
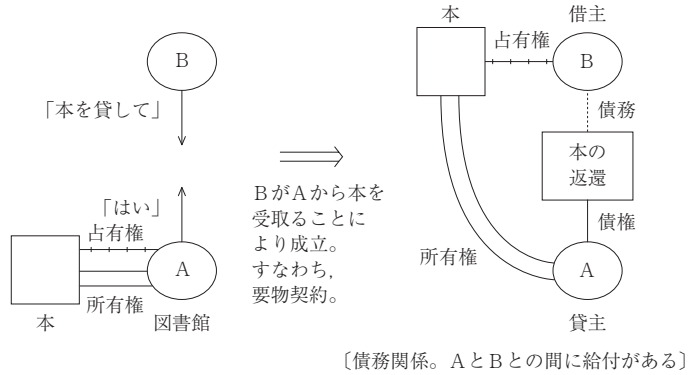
民法587条以下。



使用貸借契約

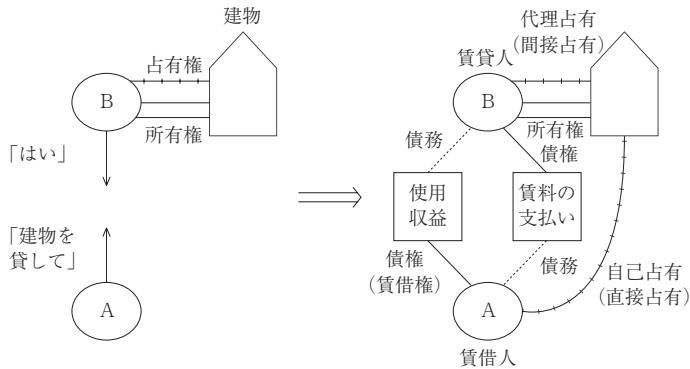
民法593条以下。

たとえば，本を図書館から借りる契約。



賃貸借契約

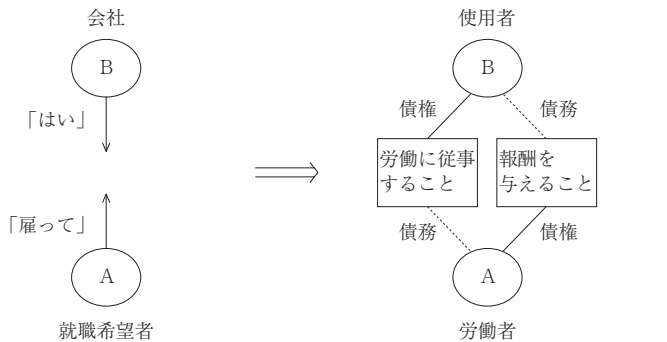
民法601条以下。



〔債務関係。AとBとの間に給付がある〕

雇用契約

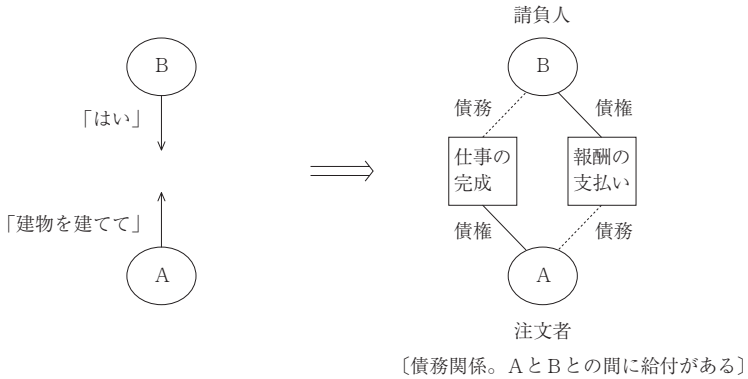
民法623条以下。



〔債務関係。AとBとの間に給付がある〕

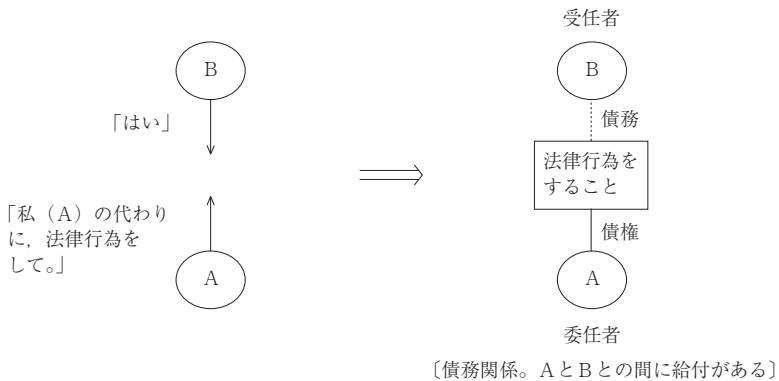
請負契約

民法632条以下。たとえば，建築業者に，建物を建ててもらう契約。



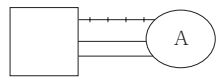
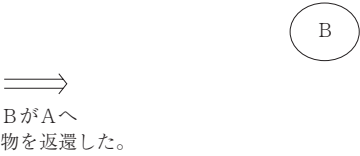
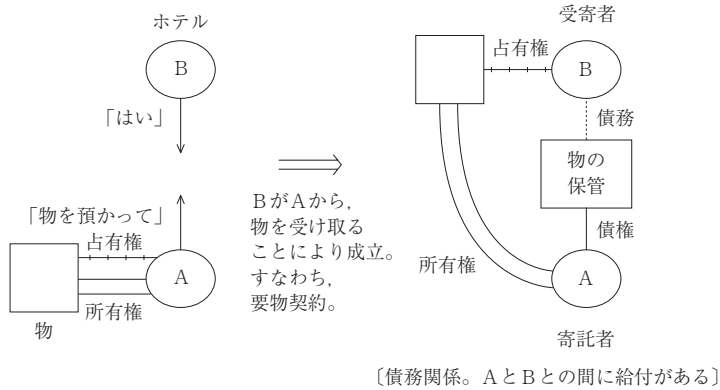
委任契約

民法643条以下。たとえば，Aに代わって，Bが車を買うことを，AがBに委託する契約。



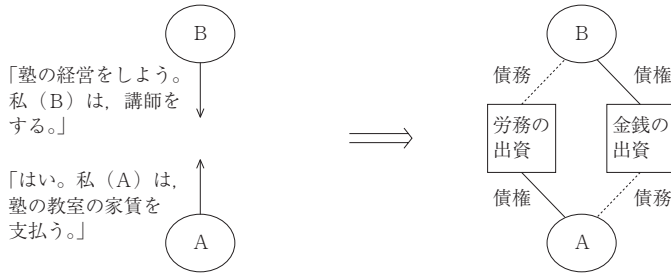
寄託契約

民法657条以下。たとば、ホテルのフロント係に、カバンを預ける契約。



組合契約

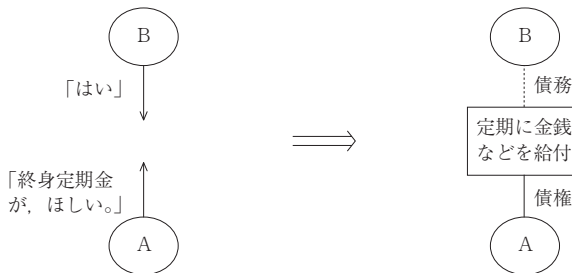
民法667条以下。たとえば、A、Bが、塾の経営をする契約を
むすんだばあい。



〔債務関係。AとBとの間に給付がある〕

終身定期金契約

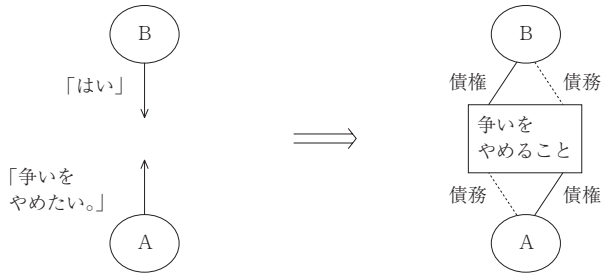
民法689条以下。



〔債務関係。AとBとの間に給付がある〕

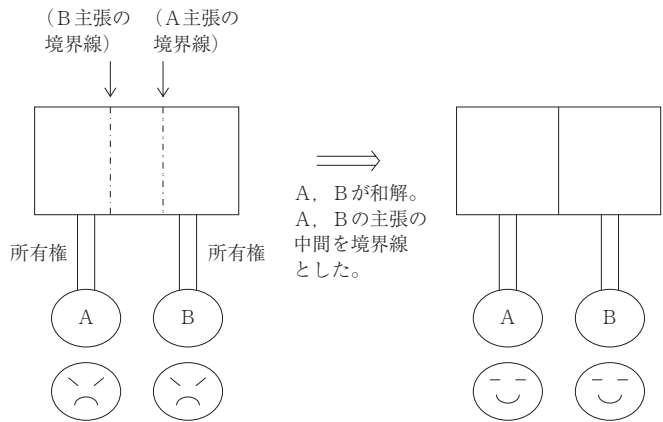
和解契約

民法695条以下。たとえば、AとBが、隣地同士で、長い間、境界線の争いがあった。そこで、争いをやめる契約をするばあい。山川一陽ほか・口語民法を参照した。



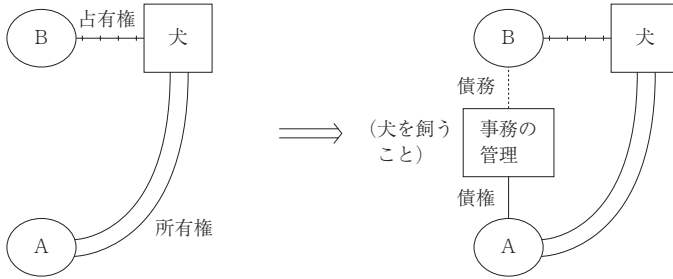
〔債務関係。AとBとの間に給付がある〕

争いの例。隣地の境界線の争い。



事務管理

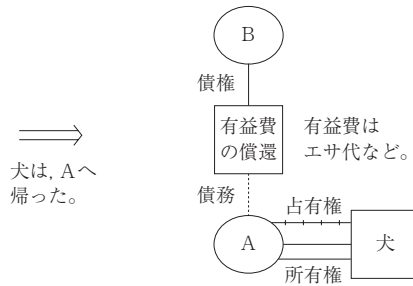
民法697条以下。



Aの飼い犬が迷って、
Bが飼った。

〔債務関係。AとBとの間に給付がある〕

民法 702 条による。

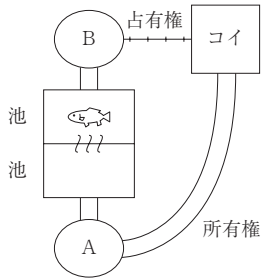


犬は、Aへ
帰った。

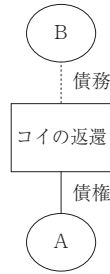
〔債務関係。AとBとの間に給付がある〕

不当利得

民法703条以下。山川一陽ほか・口語民法を参照した。



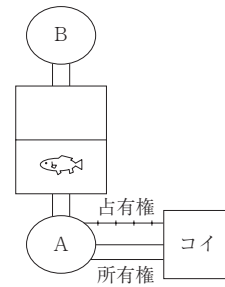
大雨で、Aの池のコイが、
Bの池へ流れてきた。



〔債務関係。AとBとの間に給付がある〕



Bが、コイを
Aへ返還した。



不法行為 民法709条以下。

